



第 12 回大学評価シンポジウム

<プログラム>

- 開催日時：2023（令和5）年3月20日（月）14:00～16:45
- 開催方法：オンライン（Zoom ウェビナー）
- 参加対象：大学評価及び短期大学認証評価の評価委員会委員・幹事、分科会委員登録者、財務評価分科会委員登録者
- テーマ：大学の改善活動と教育の充実・学生の学習成果の向上 ―評価者はどう問うか―

<開催趣旨>

認証評価第3期の大学評価、短期大学認証評価においては、内部質保証システムの有効性を重視した評価を行っております。しかし、評価の前年、前々年度に内部質保証システムを構築あるいは刷新したばかりという大学が多いのが実情です。そのためもあって、評価においては内部質保証体制や点検・評価からそれに基づく改善・向上に至る手続が十分に機能していないという判断も多く、内部質保証システムが機能することによって教育・学習等にどのような効果をもたらしているのか、という段階に至らないことも少なくありません。評価者側としても、大学基準等で示されている内部質保証推進組織の「必要な運営等を行う役割」とは何なのかについて、具体的なイメージが湧かない場合や、改善活動と教育の充実・学習成果の向上とのリンクなどをどう問題にすべきか迷う場合も少なくないでしょう。また、「学生のため」とは何かという点などを理解したうえで評価に臨むことが重要であるなか、今回のシンポジウムでは、内部質保証と教育の充実・学習成果の向上に焦点を据え、評価者としてどのように評価に臨んだか、評価者として取るべき姿勢は何かということを中心に経験者からお話いただき、理解を深める機会にしていきたいと考えます。

（敬称略）

5分 (14:00～14:05)	◆開会挨拶：工藤 潤（大学基準協会事務局長）
20分 (14:05～14:25)	◆事務局説明：「教育の質保証と学習成果の向上」 中村 安希（大学基準協会評価事業部評価第1課課長）
30分 (14:25～14:55)	◆評価経験者報告1：「内部質保証の実効性」 中嶋 真也（駒澤大学文学部教授）
30分 (14:55～15:25)	◆評価経験者報告2：「大学の改善活動と教育の充実・学生の学習成果の向上 ―評価者はどう問うか―（分科会の評価経験から）」 平栗 健二（東京電機大学統括副学長・工学部教授）
10分 (15:25～15:35)	～ 休 憩 ～
70分 (15:35～16:45)	◆パネルディスカッション、参加者からの質問への回答 モデレーター：松坂 顕範松坂 顕範（大学基準協会評価研究部企画・調査研究課課長） パネリスト：登壇者3名